



2022年11月10日

各位

上場会社名 日本エアーテック株式会社
 代表者 代表取締役社長 平沢 真也
 (コード番号6291 東証プライム市場)
 問合せ先 代表取締役副社長兼管理本部長 渡辺 直樹
 (TEL:03-3872-9192)

2022年12月期 通期業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、2022年2月14日に公表した2022年12月期の通期業績予想及び年間配当金の予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

2022年12月期通期個別業績予想数値の修正(2022年1月1日~2022年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	13,000	1,500	1,650	1,170	114.19
今回修正予想(B)	12,500	1,100	1,410	1,020	99.44
増減額(B-A)	△500	△400	△240	△150	
増減率(%)	△3.8	△26.7	△14.5	△12.9	
(参考) 前期実績 (2021年12月期)	14,289	1,991	2,195	1,584	153.03

2. 配当予想の修正について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
前回予想 (2022年2月14日発表)	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 50.00	円 銭 50.00
今回修正予想	—	—	—	60.00	60.00
当期実績	—	0.00	—		
(参考) 前期実績 (2021年12月期)	—	0.00	—	50.00	50.00

3. 修正の理由

第3四半期累計期間における売上高は、感染症対策機器の販売減少の影響を受けたものの半導体電子分野の販売増加が補完し、ほぼ計画通りの進捗となっております。一方で、営業利益率は感染症対策機器の販売減少に伴い低下しております。第4四半期の見通しは、半導体電子分野を主とした受注残が積みあがっている中、各種部品の供給不足による出荷の停滞及び原材料の高騰による粗利率の低下リスクを見込んでおり、売上高予想及び各利益予想を修正いたします。しかしながら、コロナ禍以前に比べ、標準品・準標準品の売上比率は向上しており、営業利益率も改善しております。

来期に向けましては、省エネルギー性能に秀でた機器の拡販をさらに推進し、赤城スマートファクトリーの本格稼働による効果と合わせ、半導体電子分野等への出荷状況の改善及び価格改定の効果等により、業績拡大に注力してまいります。

なお、配当予想につきましては、当社の配当性向方針及び当期の業績見通し等を総合的に勘案した結果、前回予想の普通配当40円に赤城スマートファクトリー竣工記念配当10円を加えた合計50円から、記念配当を20円に増額した60円に上方修正いたします。

(注)上記の予想につきましては、現時点における入手可能な情報を基に作成したものであり、実際の業績は様々な事情により異なる場合があります。

以上